BIOENERGY Conference&Exihibition 2008 参加報告

阿部 和雄 さん（会員）

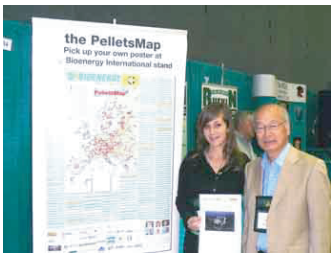
会議風景

BIOENERGY Conference & Exihibition 2008の催しがカナダのブリティッシュ・コロンビア州プリンス・ジョージ市で開かれた。6月3日～5日までが会議、5日～7日までが展示であった。2年おきに開かれ、今回は3回目である。20ヵ国から400人が参加した。

ここは「バイオマスのサウジアラビア」を自認するブリティッシュ・コロンビア州のほぼ中心に位置した、製材やペレット産業が盛んな所だ。会議主催者はピナクル・ペレット社のオーナーでもあるカナダペレット協会会長のJohn Swaan氏で、「ペレット産業のおじいちゃん」と呼ばれ、みんなから尊敬されているらしい。

会議ではペレットだけでなく、木質バイオマス全般がカバーされた。初日は生産と市場の世界的動向、大学での基礎研究、大量輸送と貯蔵の安全性（ヨーロッパへの輸送中に炭酸ガス中毒や火災事故が起きている）、事業の成功例などが話された。二日目はバイオエネルギー産業の経済的・政治的側面と再生可能性の研究結果が話された。三日目は、新しい技術や事業形態への取り組みと将来の動向が話された。講演の内容はhttp://www.bioenergyconference.org に掲載されている。

ダイナミックに形成されつつある巨大産業としてのバイオエネルギー産業を肌で感じた会議だった。「環境にやさしい」とか「地産地消」とかきれいごとは二の次という感じだ。ペレットストーブを使う一消費者として、この問題に関心を持った筆者としては、物足りなさを感じた。唯一、アイルランドでペレットとストーブおよび小型ボイラーの販売の成功例を話したRichard Smith氏の「消費者は獲得する時だけ一生懸命になるのではなく、その後こまめに世話をするのが私たちのモットーだ」という言葉には救われた思いがした。



バイオエネルギーインターナショナル誌のMaral Kassabianさんと筆者。日本語ダイジェストを掲げてくれている。

※写真はいずれも阿部さん提供

（6ページの続き↓）

事例3：ストーブの爆発

◆概要：本年10月、ペレットストーブの燃焼室内が爆発。本機は強制排気形（FE）タイプなので、給気口から室内に火の粉が飛び散った。幸い断熱用の金属板が遮蔽物になっていたので大事に至らず。

◆原因：導入機種の適合燃料は木部ペレットもしくは木部・樹皮混合ペレットのみであったが、手元に余っていた樹皮ペレットを処分しようとストーブに供給。その結果、燃焼ポット内の火が消え、熾き火状態になったところへ燃料が供給され続け、ガス化したガスに引火したことが原因。要因⑥に該当する。

事例4：燃焼不良

◆概要：昨年後半から本年にかけて、それまで問題なく稼動していたストーブが突然燃焼不良を起こすようになった。燃焼ポットにたまった燃料が燃えきらず、火炎が大きくなり過ぎたり火が消えたりする。

◆原因：燃料メーカーが原料の樹種を変更したことにより、ストーブ内の空気量が不適切になったことが原因と考えられる。原因②、③に該当する。

異常燃焼（写真提供：メーカー代理店）

事例5：ストーブの燃料タンクに指詰

◆概要：今年の春、ストーブの燃料タンクのスクリュー部分に詰まった燃料を指で取り除こうとしたところ、指が挟まって取れなくなった。消防が出動、ストーブを解体して指を開放。幸い大事に至らず。

◆原因：取扱説明書では燃料詰まりはドライバー等の道具で解決するよう記載があったが、使用者が指を突っ込んだ。原因⑥に該当する。その後メーカーはタンク内に注意書きのシールを貼ることに決めた。

このようなトラブルを防ぐには、①燃料の規格化と遵守、②ストーブ等燃焼機器の規格化と検査体制、③施工業者への教育、④消費者への情報提供が必要です。

ペレットクラブとしてはこれらの課題をすぐにでも解決すべきと考えておりますが、資金や人材の手配を考えると今の体制では夢物語に過ぎません。

今回、トラブル情報をこのような形で公表する事に関しても運営委員会で何度も議論しましたが、知っていて公表しないよりも、まずは注意喚起を行い、事故などの被害を少しでも食い止めることが先決であるという考えの下に記事を作成しました。　ペレットの普及のためには機器の導入が先決ですが、そのための環境作り、特に安全性についての配慮が最優先なのは言うまでもありません。そのために何が我々にできるか、引き続き考えていきたいと思います。

トラブル情報はこちらまで

◆電子メール　trouble@pelletclub.jp

◆ホームページ

http://www.pelletclub.jp/jp/pellet_stove/trouble.html

◆本紙にイベントや広告等の情報掲載を希望される方は、事務局までご相談下さい。

書籍の紹介

火のある暮らしを楽しむ 薪ストーブ・ペレットストーブ導入の手引き

暖房についての基礎知識から薪ストーブ・ペレットストーブの設置・運用に関する注意点まで、専門的ではありますが、イラストと共にとても分かりやすく解説されています。これからストーブを導入する予定の方、新築やりフォームを考えている方にぴったり。興味のある方はぜひ一度ご覧になってみて下さい。

企画・製作：岩手県農林水産部林業振興課
編集：岩手・木質バイオマス研究会

2008年2月 発行

http://www.pref.iwate.jp/~hp0552/biomass/hinoarukurashi/hinoarukurashi.pdf

↑※上記PDFから冊子の閲覧が可能（無断転載は禁止）です。